

令和3年度第1回流山市史編さん審議会会議

- 1 日時 令和3年6月4日（金）
午後2時から午後4時まで
- 2 場所 流山市立中央図書館会議室
- 3 出席者等
(審議会委員)
相原正義会長 山田友治副会長 川根正教委員 清藤一順委員
高見澤美紀委員 村田一二委員 笠間雄三委員 鳥羽洋子委員
欠席：手塚雄太委員
(事務局)
飯塚生涯学習部長 秋谷博物館長 北澤博物館次長 小川学芸係長
上條学芸員
(傍聴者)
なし
- 4 議題
 - (1) 令和2年度流山市史編さん事業について
 - (2) 令和3年度流山市史編さん事業について
 - (3) 『流山市史研究』第24号投稿論文について
 - (4) その他

令和3年度第1回流山市史編さん審議会会議録

(北澤次長)

定刻となりましたので、令和3年度第1回流山市史編さん審議会を開催いたします。本日の進行を務めます、博物館次長の北澤です。よろしくお願いいたします。

本日は大変お忙しい中、また、コロナ禍の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。会議開催に先立ちまして、資料を確認させていただきます。先日送付いたしました「会議資料」のほか、本日配付いたしました「会議次第」、「座席表」、「委員名簿」です。不足資料はございませんか。

また、昨年刊行しました『恩田家文書目録』、昨年実施いたしました企画展「流山の災害史」のパンフレット、令和元年度発掘調査報告書・博物館年報をお配りしております。これについては、御参考にしていただきたいと思います。

審議会の議事は公開が義務づけられております。会議録の作成のため、録音をさせていただきますので、御了承願います。また、発言は挙手の上、議長より指名がなされてから発言をお願いいたします。

今回の審議会は、昨年10月に新たに委嘱いたしましたが、最初の会議は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が出されたこともあり、会長・副会長選任を書面会議にて開催させていただきました。そのため、委員の皆様が集まって行う最初の会議となります。本来であれば、田中教育長から皆様に御挨拶申し上げるところですが、本日は公務が重なり、欠席とさせていただきましたので、代わりに生涯学習部長より御挨拶を申し上げます。

(飯塚部長挨拶)

(北澤次長)

ありがとうございました。

続きまして、この3月で平成27年度から館長をつとめてきました小栗が3月で定年を迎え、4月の人事異動で新しく秋谷が館長に着任いたしました。

新たに着任いたしました館長秋谷より御挨拶申し上げます。

(秋谷館長挨拶)

(北澤次長)

ありがとうございました。

事務局は人の異動はありませんでしたが、役職に一部変更がありましたので、

事務局の紹介をさせていただきます。

(事務局挨拶)

(北澤次長)

挨拶ばかりで申し訳ありません。

続きまして、今回の改選で、下津谷委員、小川委員、堀部委員と公募委員の2名が退任され、今期から新しい委員が委嘱されましたので、相原会長・山田副会長の順で委員の皆様からも御挨拶いただきたいと思えます。

相原会長お願いします。

(相原会長挨拶)

(各委員挨拶)

(北澤次長)

ありがとうございました。

本日欠席の手塚委員からも、皆様に宜しくと伝言を承っております。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

流山市史編さん審議会条例第5条第3項の規程により、会議の議長は会長に務めていただく事となっておりますので、ここからは、相原会長に進行をお願いいたします。

(相原会長)

議事進行に先立ち、事務局に出席委員数の報告を求めます。

(小川係長)

本日の会議につきましては、委員9名のところ8名と過半数の出席をいただいておりますので、流山市史編さん審議会条例第6条第2項の規定により、会議が成立していることを申し添えます。

(相原会長)

会議成立ということですので、次第により議事を進行させていただきます。

それでは、議題(1)令和2年度流山市史編さん事業について、議題(2)令和3年度流山市史編さん事業について事務局より説明を願います。

(北澤次長)

議題(1) 令和2年度流山市史編さん事業ですが、①市史啓発事業「古文書講座」、②『恩田家文書目録(1)』の刊行、③文書資料の寄託、以上3点が主な事業となります。

古文書解読事業は、収蔵点数28,327点のうち、令和2年度は中村家文書281点について解読を行いました。恩田家文書は9,125点のうち、8,163点終了いたしました。

古文書講座は、例年通り前期・後期、都合8回を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、後期は中止いたしました。前期も、通常は定員40名で開催しておりましたところを、通常定員の半分の人数で実施しました。講師は、昨年度新規採用職員の伊藤・松本が担当いたしました。

『恩田家文書目録』は、A4判 168頁 部数200部をこの3月に刊行いたしました。

文書資料の寄託は、昨年度新たに三輪野山の小谷家文書の寄託を受けました。現在整理中ですが、約4,000点を見込んでいます。このほか、伊藤直彦家文書、岡田清家文書、須賀忠信家文書、柳澤清彦家文書について、引き続き5年間の寄託を受けました。

最後に、市史編さん作業で使用しているパソコン2台について、今まで使っていたものが古くなったことから、新しいものに更新しました。

議題(2) 令和3年度流山市史編さん事業について御説明いたします。①古文書解読事業、②市史啓発事業「古文書講座」、③『恩田家文書目録(2)』の刊行準備、④『流山市史研究』第24号の刊行、以上4点が主な事業となります。

古文書解読事業は、中村家文書・恩田家文書の解読作業を続けるとともに、芝崎吉野家、古間木芳野家の文書目録作成に向けた基礎整理作業、小谷家文書の点数確認作業を行います。

市史啓発事業「古文書講座」は、今年度も前期・後期都合8回開催する予定ですが、新型コロナウイルス感染症の様子をうかがっている状況であり、詳細な日程は調整中です。

次に、『恩田家文書目録(1)』に続く『恩田家文書目録(2)』の刊行準備を進めています。『恩田家文書目録(2)』は3,500点ほどの史料について掲載予定であり、来年度の刊行に向けて準備を進めています。

『流山市史研究』第24号は今年度3月に刊行する予定で、A4判 300冊を予定しております。詳細につきましては次の議題に関わりますので、ここまでとさせていただきます。

(相原会長)

只今の事務局からの「令和2年度流山市史編さん事業について」「令和3年度流山市史編さん事業について」の報告について、ご質問・ご意見のある方はいらっしゃいますか。

(川根委員)

昨年度解説を実施した中村家について、所在地とどういった家なのかを教えてください。

(北澤次長)

三輪野山、茂侶神社の前にある旧家です。

(相原会長)

他に何かありますか。

(川根委員)

恩田家文書目録ですが、次に刊行する際は分類の目次をつけてもらいたいです。

(上條学芸員)

次巻以降検討いたします。

(相原会長)

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

ないようですので、次の議題に移ります。

議題(3) 流山市史研究第24号について、事務局より説明願います。

(上條学芸員)

掲載内容は次の通りを予定しております。

平成30年度企画展「小金牧」関連の講演を高見澤先生にいただきましたので、そちらの講演録。昨年度開催した企画展「流山の災害史」展示資料を使って流山市域における「安政台風」の被害について研究ノートを1本、私上條。前号(第23号)より、市民投稿については「流山を歩く」というジャンルで掲載することになったかと思っておりますので、「流山を歩く」で投稿論文の掲載を予定しております。投稿論文につきましては後程触れますのでここでは割愛いたします。資料紹介は博物館次長北澤が予定しております。最後に、市史編さんの動きは、23号以降の市史編さん事業報告を掲載いたします。

次に、投稿論文について御説明いたします。市民より次の3本の投稿がございました。

「兵士はどこへ行ったのか—流山・野田市域の西南戦争従軍者—」

「旧水戸街道に旧木戸（仮称）があったか？—『駅路鞭影記』からその存在を探る」

「流山市跡の「基準地」・「根拠」の確認について」

以上3本が投稿論文としてあがってきております。

（小川係長）

以上が市史研究24号の進捗状況となります。先日、委員の皆様には投稿原稿を送付させていただいたところがございます。

投稿原稿につきましては、「流山市史編さんに係る指針」の（2）「流山市史研究」編集基準ウにより、掲載については審議会の意見を求めるものとされていることから、ご意見を頂戴するものです。

送付させていただきました3本の原稿のうち、昨年の第1回審議会でお配りした投稿原稿2本については、相原会長より両論文に対しての修正・指摘事項がありましたので、最初に相原会長より説明をお願いしたいと思います。

なお、3本同時に審議を行いますと混乱すると思われるので、修正・指摘事項のあった2本について、まずは審議していただきたいと思っております。

（相原会長）

ここからは、私からの修正・改善点の説明・質疑になりますので、議長を副会長の山田委員に交代していただきたいと思っております。

では、審議をはじめますが、委員各位には自由なご意見をいただいて適正な審議をおこないたいと存じますことから、流山市情報公開条例第23条2号の規定により、会議を非公開とします。事務局は議場を閉鎖してください。

議場閉鎖

3本の投稿論文について審議し、全ての論文について問題点が指摘され、書き直したものを再提出させた上、再度掲載の可否を議論することで一致した。

議場開場

（相原会長）

次の議題に移ります。

議題（４）その他について、事務局より説明を願います。

（秋谷館長）

特段ございません。

（山田副会長）

『流山市史研究』第24号は令和3年度中の刊行を目指すとありますが、次の審議会は大体何月頃を予定されていますか。

（北澤次長）

修正論文については執筆者と調整の上、『流山市史研究』第24号に掲載できるかも含め、相談していきます。

（相原会長）

他に何かありませんか。

ないようですので、事務局にお返しします。

（秋谷館長）

皆様には、長時間にわたり御審議いただきまして、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和3年度第1回流山市史編さん審議会を閉会します。お疲れ様でした。